

保健科学部

(作業療法学科)

シラバス

Syllabus 2023

あなたの学びを あなたのカタチに

九州保健福祉大学

Kyushu University of Health and Welfare



科目名	管理運営学			授業コード	120238A201	単位数 (時間数)	1 単位 (15)
配当学科(学年)	作業療法学科(4年)			ナンバリング	21C421P01	AL 科目	
担当者	立石修康	開講学期	2023 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・ 一般目標(GIO)	円滑かつ効果的な作業療法の施行にあたって職場環境の整備は重要な要素となることから、環境整備に必要な人的・物的な管理に加えリスク管理あるいは自己管理などを含めて、管理運営に関する基礎知識を修得する。						
到達目標 (SBOs)	1) 組織構成員としての役割を説明できる。 2) 管理・運営の意味することを説明できる。 3) 環境整備について説明できる。 4) リスク管理とその対応について説明できる。 5) 社会人として・医療従事者としての倫理的配慮を説明できる。 6) 自己管理と自己研鑽の必要性を説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	作業療法士(1981年免許取得)、特に身体障害領域の作業療法士としての実務経験を有している教員が、作業療法士としての職業倫理や管理運営の考え方について具体的事例を通じて解説する。						
評価方法	学期末に行う単位修得試験によって評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	1回の授業につき4時間程度の予習復習を行うこと。毎回の授業内容に合わせて、作業療法士としての態度について考え、まとめておくとともに必ず「質問を準備」しておくこと。						
オフィスアワー	授業前後の可能な時間						
授業計画							
回数	SBOs No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	科目の概要と目的の説明。 作業療法の役割と職域、組織の成り立ちとマネジメント 組織とそれを構成する構成員の役割について考える。				講 義	立 石
2	1)2)	作業療法業務のマネジメント 作業療法部門における人的・物的管理について考える。				講 義	立 石
3	2)3)	作業療法業務のマネジメント 作業療法部門の円滑な運営とそれに必要な環境整備を理解する。				講 義	立 石
4	4)	医療安全のマネジメント 医療事故と作業療法におけるリスク管理およびその対応について考える。				講 義	立 石
5	5)	医療サービスのマネジメント 社会人としての礼節と接遇を理解する。				講 義	立 石
6	5)6)	作業療法をとりまく諸制度 作業療法と診療報酬の関係を理解し、医療従事者としての責任と義務について考える。				講 義	立 石
7	5)6)	作業療法士の職業倫理 臨床における倫理的諸問題と自己研鑽の必要性について理解する。				講 義	立 石
8	1)~6)	作業療法臨床実習の理解と管理体制 まとめと臨床対応への基本態度を理解する。				講 義	立 石
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		指定しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		指定しない。					

科目名	臨床特論			授業コード	121083B201	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	作業療法学科(4 年次)			ナンバリング	21C421P02	AL 科目	○
担当者	立石 修康	開講学期	2023 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習
授業の概要・ 一般目標(GIO)	<p>1. 長期実習に際して、実習先職員の方々に好感を抱いて頂けるように、押さえておくべき基本的態度やマナーを習得する。また患者様・利用者様に関わる上での基本技術の復習し、実践レベルまで習熟する。</p> <p>2. これまでに学習してきた内容を昇華し、より実務的な内容を知る事と、臨床現場での実践的な考え方を知り、スムーズな実習進行ができるようになる。</p>						
到達目標 (SBOs)	<p>1) 評価の実技と判定の方法について理解し、実践できる。</p> <p>2) 治療技法とその注意点について実技を通して学び、実践できる。</p> <p>3) 支援技術とその注意点について実技を通して学び、実践できる。</p> <p>4) 実際の臨床場面の VTR を視聴し、現時点でできること、知識・技術が不足している点を自覚し、実習前準備につなげることができる。</p> <p>5) 実習で赴く病院や介護施設に従事する職員構成について学び、その職種や役割について列挙・説明できる。</p> <p>6) 各職員(職種)の専門性と、対象者との関係性について学び、説明できる。</p> <p>7) 臨床実習指導者の役割を理解し、実習指導を受ける心構えを涵養する。</p> <p>8) 職員に対する接遇を修得し、実践できる。</p> <p>9) 対象者に対する接遇を修得し、実践できる。</p> <p>10) 総合臨床実習の全体像を把握し、実習前準備につなげることができる。</p>						
実務経験のある 教員による教育	作業療法士(1981 年免許取得)、特に身体障害領域の作業療法士としての実務経験を有している教員が教授する。						
評価方法	各教員の提示する課題レポート 80%、確認テスト 10%、受講態度 10%で評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	3 年次履修の作業療法技能に関する専門科目すべてについて復習しておくこと。また臨床実習を想定して、自身の長・短所を挙げ、短所については対応策を検討すること。これらの事前学習に毎回 60 分費やすこと。						
オフィスアワー	開講日の 12:00~13:00						

授業計画

回数	SBOs No.	授 業 内 容	授 業 方 法	担 当
1	1)	臨床実習の概要と心得	講 義	立 石
2	1)	評価の実技と結果の判定について	講義・実技	立 石
3	2)	治療技法の実技と注意点について①	講義・実技	立 石
4	2)	治療技法の実技と注意点について②	講義・実技	立 石
5	3)	支援技術の実技と注意点について①	講義・実技	立 石
6	3)	支援技術の実技と注意点について②	講義・実技	立 石
7	4)	VTR 学習にて自助点を知る	講義・実技	立 石
8	1)~ 4)	2~7 の復習と確認テスト	講 義	立 石
9	5)	施設職員の構成について	講 義	立 石
10	6)	対象者と関わる職員の立場について	講 義	立 石
11	7)	スーパーバイザーとケースバイザーについて	講 義	立 石
12	8)	職員に対する接遇	講義・実技	立 石
13	9)	対象者に対する接遇	講義・実技	立 石
14	10)	臨床実習の全体像を把握する①	講 義	立 石
15	10)	臨床実習の全体像を把握する②	講 義	立 石

教科書(著者名)出版社名【ISBN】 指定しない。

参考書(著者名)出版社名【ISBN】 指定しない。

科目名	総合臨床実習 I			授業コード	121282H201	単位数 (時間数)	8 単位 (360)
配当学科(学年)	作業療法学科(4年)			ナンバリング	21C414P01	AL 科目	○
担当者	立石 修康・園田 徹	開講学期	2023 年度 前期	必修・選択	必 修	授業形態	臨床実習
授業の概要・ 一般目標(GIO)	大学で学んだ知識や技術を学外の臨床実習施設で実践し作業療法の職業人・専門職として必要な総合的かつ基本的技術の習得、および実践に適応できる技術を習得する。						
到達目標 (SBOs)	1)3年間学んできた作業療法を実際場面の中で統合していく。 2)評価、プランニング、実施、再評価ができる。 3)医療人としての規律が守れる。 4)臨床実習を終えた後、レポート、口頭発表にて報告ができる。						
実務経験のある 教員による教育	当該施設の実習指導者は5年以上の経験を持つ作業療法士であり、それぞれの専門領域で総合的な実習指導と支援を行う。また、教員による訪問指導も行う。						
評価方法	臨床実習施設での評価と学内での実習セミナーおよびケースレポートなどの提出物を総合的に評価する。詳細は、後に配布する実習ガイダンスにて説明する。						
準備学習・ 履修上の注意等	フィールドは実際の作業療法場面であり実際の対象者である。従って、主体的かつ真摯な実習姿勢が要求される。実習姿勢が修正できない場合や对患者リスクが認められる場合は、実習中止となることがある。実践にあたっては、前日に十分な練習をしておくこと。一つの体験について1時間を目安に練習・復習を行うこと						
オフィスアワー	学外臨床実習のため、オフィスアワーの設定はない。ただし、実習半ばで教員が実習施設に出向き相談を受け付ける(実習訪問指導)。また、必要があれば、電話による相談を随時受け付ける。						
授業計画							
回数	SBOs No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)~4)	学科の実習教育方針のもと、それぞれの領域の実習施設の対象者に応じた実習を行う。				実 習	学科全教員
2	1)~4)	学科の実習教育方針のもと、それぞれの領域の実習施設の対象者に応じた実習を行う。				実 習	学科全教員
3	1)~4)	学科の実習教育方針のもと、それぞれの領域の実習施設の対象者に応じた実習を行う。				実 習	学科全教員
4	1)~4)	学科の実習教育方針のもと、それぞれの領域の実習施設の対象者に応じた実習を行う。				実 習	学科全教員
5	1)~4)	学科の実習教育方針のもと、それぞれの領域の実習施設の対象者に応じた実習を行う。				実 習	学科全教員
6	1)~4)	学科の実習教育方針のもと、それぞれの領域の実習施設の対象者に応じた実習を行う。				実 習	学科全教員
7	1)~4)	学科の実習教育方針のもと、それぞれの領域の実習施設の対象者に応じた実習を行う。				実 習	学科全教員
8	1)~4)	学科の実習教育方針のもと、それぞれの領域の実習施設の対象者に応じた実習を行う。				実 習	学科全教員
9	1)~4)	学科の実習教育方針のもと、それぞれの領域の実習施設の対象者に応じた実習を行う。				実 習	学科全教員
10	1)~4)	学科の実習教育方針のもと、それぞれの領域の実習施設の対象者に応じた実習を行う。				実 習	学科全教員
11	1)~4)	学科の実習教育方針のもと、それぞれの領域の実習施設の対象者に応じた実習を行う。				実 習	学科全教員
12	1)~4)	学科の実習教育方針のもと、それぞれの領域の実習施設の対象者に応じた実習を行う。				実 習	学科全教員
13	1)~4)	学科の実習教育方針のもと、それぞれの領域の実習施設の対象者に応じた実習を行う。				実 習	学科全教員
14	1)~4)	学科の実習教育方針のもと、それぞれの領域の実習施設の対象者に応じた実習を行う。				実 習	学科全教員
15	1)~4)	学科の実習教育方針のもと、それぞれの領域の実習施設の対象者に応じた実習を行う。				実 習	学科全教員
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		指定しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		指定しない。					

科目名	総合臨床実習Ⅱ			授業コード	121283H201	単位数 (時間数)	8 単位 (360)
配当学科(学年)	作業療法学科(4年)			ナンバリング	21C414P02	AL 科目	○
担当者	立石 修康・園田 徹(保・作)	開講学期	2023 年度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	臨床実習
授業の概要・ 一般目標(GIO)	大学で学んだ知識や技術を学外の臨床実習施設で実践し作業療法の職業人・専門職として必要な総合的かつ基本的技術の習得、および実践に適応できる技術を習得する。						
到達目標 (SBOs)	1)3年間学んできた作業療法を実際場面の中で統合していく。 2)評価、プランニング、実施、再評価ができる。 3)社会人としての規律が守れる。 4)臨床実習を終えた後、レポート、口頭発表にて報告ができる。						
実務経験のある 教員による教育	当該施設の実習指導者は5年以上の経験を持つ作業療法士であり、それぞれの専門領域で総合的な実習指導と支援を行う。また、教員による訪問指導も行う。						
評価方法	臨床実習施設での評価と学内での実習セミナーおよびケースレポートなどの提出物を総合的に評価する。詳細は、後に配布する実習ガイダンスにて説明する。						
準備学習・ 履修上の注意等	フィールドは実際の作業療法場面であり実際の対象者である。従って、主体的かつ真摯な実習姿勢が要求される。実習姿勢が修正できない場合や对患者リスクが認められる場合は、実習中止となることがある。実践にあたっては、前日に十分な練習をしておくこと。一つの体験について1時間を目安に練習・復習を行うこと						
オフィスアワー	学外臨床実習のため、オフィスアワーの設定はない。ただし、実習半ばで教員が実習施設に出向き相談を受け付ける(実習訪問指導)。また、必要があれば、電話による相談を随時受け付ける。						

授業計画

回数	SBOs No.	授 業 内 容	授 業 方 法	担 当
1	1)~ 4)	学科の実習教育方針のもと、それぞれの領域の実習施設の対象者に応じた実習を行う。	臨床実習	学科全教員
2	1)~ 4)	学科の実習教育方針のもと、それぞれの領域の実習施設の対象者に応じた実習を行う。	臨床実習	学科全教員
3	1)~ 4)	学科の実習教育方針のもと、それぞれの領域の実習施設の対象者に応じた実習を行う。	臨床実習	学科全教員
4	1)~ 4)	学科の実習教育方針のもと、それぞれの領域の実習施設の対象者に応じた実習を行う。	臨床実習	学科全教員
5	1)~ 4)	学科の実習教育方針のもと、それぞれの領域の実習施設の対象者に応じた実習を行う。	臨床実習	学科全教員
6	1)~ 4)	学科の実習教育方針のもと、それぞれの領域の実習施設の対象者に応じた実習を行う。	臨床実習	学科全教員
7	1)~ 4)	学科の実習教育方針のもと、それぞれの領域の実習施設の対象者に応じた実習を行う。	臨床実習	学科全教員
8	1)~ 4)	学科の実習教育方針のもと、それぞれの領域の実習施設の対象者に応じた実習を行う。	臨床実習	学科全教員
9	1)~ 4)	学科の実習教育方針のもと、それぞれの領域の実習施設の対象者に応じた実習を行う。	臨床実習	学科全教員
10	1)~ 4)	学科の実習教育方針のもと、それぞれの領域の実習施設の対象者に応じた実習を行う。	臨床実習	学科全教員
11	1)~ 4)	学科の実習教育方針のもと、それぞれの領域の実習施設の対象者に応じた実習を行う。	臨床実習	学科全教員
12	1)~ 4)	学科の実習教育方針のもと、それぞれの領域の実習施設の対象者に応じた実習を行う。	臨床実習	学科全教員
13	1)~ 4)	学科の実習教育方針のもと、それぞれの領域の実習施設の対象者に応じた実習を行う。	臨床実習	学科全教員
14	1)~ 4)	学科の実習教育方針のもと、それぞれの領域の実習施設の対象者に応じた実習を行う。	臨床実習	学科全教員
15	1)~ 4)	学科の実習教育方針のもと、それぞれの領域の実習施設の対象者に応じた実習を行う。	臨床実習	学科全教員

教科書(著者名)出版社名【ISBN】 指定しない。

参考書(著者名)出版社名【ISBN】 指定しない。

科目名	地域作業療法学Ⅱ			授業コード	121285A201	単位数 (時間数)	1 単位 (15)
配当学科(学年)	作業療学科(4年)			ナンバリング	21C411P01	AL 科目	○
担当者	立石 修康	開講学期	2023 年度 前期	必修・選択	必 修	授業形態	講義、SGD
授業の概要・ 一般目標(GIO)	<p>医学モデルを基盤としながらも、生活モデルの視点を併せ持つて地域に臨む作業療法への需要は年々増加傾向にある(小川ら;2017)。そのような中、公的保険外サービスの中で実践するOTが着目されている(寺門ら;2017)。本講義では、そういった地域での作業療法を実践する先達や他職種から最新情報について学ぶことを目的としている。あわせて、地域において多職種連携を実践するにあたり必要な心構えについて学んでいく。</p> <p>小川恵子編集:標準作業療法学地域作業療法学第3版. 医学書院, 2017. 寺門貴編集:未来投資会議の流れの中でOTの生きる道. 臨床作業療法 14(5), 2017.</p>						
到達目標 (SBOs)	<p>1)地域作業療法について概説できる。 2)各領域の地域作業療法の実践の場について説明できる。 3)各領域の地域作業療法の実践について説明できる。 4)他職種との連携と協働の重要性について説明できる。 5)地域作業療法実践における心構えや準備について説明できる。</p>						
実務経験のある 教員による教育	作業療法士免許を有し、臨床現場での5年以上の実務経験に基づき、地域での作業療法を実践するための講義を実施する。						
評価方法	グループ課題(4割)、レポート(6割)にて総括的評価を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	<p>授業予定の項目を事前に予習すること。(60分) 目標を持って、主体的に授業に参加すること。 各回振り返りのレポートを作成すること。(60分)</p>						
オフィスアワー	火曜, 終日.						
授業計画							
回数	SBOs No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	地域作業療法の基盤と背景、制度・社会生活支援・連携				講義、SGD	立石
2	2)~5)	地域作業療法の実践の場と実践例① 身体機能領域、老年期領域				講義、SGD	立石
3	2)~5)	地域作業療法の実践の場と実践例② 精神機能領域、発達領域				講義、SGD	立石
4	4)~5)	地域作業療法の実践事例①				講義、SGD	立石
5	4)~5)	地域作業療法の実践事例②				講義、SGD	立石
6	1)~5)	地域作業療法の実践事例③				講義、SGD	立石
7	1)~5)	地域作業療法の実践事例④				講義、SGD	立石
8	1)~5)	地域作業療法の実践事例⑤				講義、SGD	立石
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		指定しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		指定しない。					

科目名	特別課題研究Ⅱ			授業コード	121311A203	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	作業療法学科(4年)			ナンバリング	21C423P02	AL 科目	○
担当者	立石 修康	開講学期	2023 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習
授業の概要・ 一般目標(GIO)	非利き手書字(テーマ1), 徒手筋力検査手技の検証(テーマ2), 福祉機器の開発(テーマ3)より一つのテーマを選択し, 研究計画を立案し, 研究プロセスを実践し, 結果を考察し, 研究を発表し, 研究能力を育成する。						
到達目標 (SBOs)	全ての段階において研究倫理を遵守した方法を実践できることを前提に, 特別課題研究Ⅰに引き続き, 以下を到達目標とする。 3) 研究プロトコルを立案することができる。 4) データを収集することができる。 5) データを解釈し考察することができる。 6) プレゼンテーションができる。						
実務経験のある 教員による教育	作業療法士(1981年免許取得)、特に身体障害領域の作業療法士としての実務経験を活かして指導する。						
評価方法	取り組み姿勢を50%、研究結果、成果物、論文作成、発表等を50%とし総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	自分で調べる技術を身につけておくこと。 各担当ごとの内容を確認すること。 各回の授業内容について、60分程度の予習と復習を行うこと。						
オフィスアワー	毎週火曜日の午前中						
授業計画							
回数	SBOs No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	3)	予備研究を実践できる。				講義・演習	立石
2	3)	予備研究の結果に基づき、研究計画を修正できる。				講義・演習	立石
3	3)	研究計画書を書くことができる。				講義・演習	立石
4	3)	研究計画書を修正することができる。				講義・演習	立石
5	3)	研究に必要な文献を探ることができる。				講義・演習	立石
6	3)	文献を読み、内容を理解、整理できる。				講義・演習	立石
7	4)	対象者に説明し、同意を得て、データを収集することができる。				講義・演習	立石
8	4)	データの入力と分析方法ができる。				講義・演習	立石
9	5)	論文のアウトラインを書くことができる。				講義・演習	立石
10	5)	方法と結果を書くことができる。				講義・演習	立石
11	5)	考察と研究背景、文献を書くことができ、論文を仕上げることができる。				講義・演習	立石
12	6)	パワーポイントで、プレゼンテーションを作成できる。				講義・演習	立石
13	6)	プレゼンテーションの内容を、規定時間に合わせて修正できる。				講義・演習	立石
14	6)	発表の予演を行い、内容を修正できる。				講義・演習	立石
15	6)	発表ができ、質問に答えることができる。				講義・演習	立石
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		指定しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		指定しない。					